



# 地域経済の振興とまちづくりに全力

## がんばります

# 原田 完です

日本共産党 京都府委員会 <https://www.jcp-kyoto.jp>

### 自由と平和まっすぐ。党創立100年

日本共産党は1922年7月15日の創立から100年を迎えました。

この100年は、国民の利益擁護、反戦平和、民主主義社会進歩をめざし、果敢にたたかい続けてきた歴史です。

どんなに困難な時代でも決して国民を裏切らず、強大な権力に対しても正面から立ち向かってきた歴史は私たちの誇りです。

日本共産党は当初から、絶対主義的天皇制に反対し、主権在民の民主政治、民主主義革命の旗をかかげ、弾圧をうけながらもシベリア出兵反対、朝鮮人民の独立闘争支持、一八歳男女普通選挙権、侵略戦争反対、主権在民、家長長制

反対男女平等、八時間労働制へと様々な分野で命の危険を顧みず勇敢にたたかいました。

日本共産党の誕生は、国の統治の権限を天皇が握る専制

政治の下にありました。国民の人権は抑圧され、言論は厳しく取り締まられました。侵略戦争が拡大されていった時代です。

### たたかいは歴史を切り開く

主権在民・反戦平和を掲げることが文字通り命がけで、多くの先輩が命を落としました。

中国への本格的な侵略が開始されると、治安維持法・特高警察による弾圧はいよいよはげしくなり、1929年3月5日山本宣二が右翼による惨殺、33年2月には作家・小林多喜二(29)が残酷な拷問で殺され、同月、『日本資本主義発達史講座』の編集でも知られる野呂栄太郎(33)も事実上の拷問死させられていきます。

党幹部だけでなく、広島・呉港で現役水兵・兵士の反戦運動を組織した阪口喜一郎(31)、党中央事務局で連絡・印刷などの活動をした伊藤千代子(24)、獄中からちり紙で姉へ「信念をまっとうする上にお

いてはいかなるいばらの道であつと…」と書いた田中サカヨ(24)、化粧用コ

ンパクトに「闘争・死」の文字を刻み獄死した飯島喜美(24)、日本共産青年同盟中央機関紙「無産青年」配布網を組織した高島満兎(まると)(24)…。みんな人生はこれからという若さでした。

私の母親も7月10日の京都市民報で報道されたように高島満兎や飯島喜美と活動を

して治安維持法で4回逮捕投獄されたが、無数の人々、青年たちの不屈のたたかいは、日本共産党の誇りであり、いまの私たちのたたかいは勇気づけ、励ましてくれるものです。

今年公開された映画「わが青春つぎるとも」伊藤千代子の生涯」は、治安維持法で逮捕され、権力による過酷な弾圧で命を奪われた若き女性活動家の足跡を描いています。

貧困を見て社会に矛盾を抱き、東京女子大で社会科学研究会に加わった千代子は、郷里の長野県の製糸工場の争議をたたかう中で入党し、激しい拷問や卑劣な懐柔工作にも

唱え、9条改憲をもくろむ動きに対してだ。

「戦争を推し進める者は、それをあおり、人々を戦争に巻き込んでいきます」(孝道山本仏殿)、「戦争を起こすのは人間であるが、それ以上に戦争を許さない努力が出来るのも人間である」(日本聖公会)、「憲法第9条は、日本と世界にとって平和の道しるべ」(日本キリスト教協議会)。

浄土真宗僧侶で武蔵野大学名誉教授、仏教タイムス社社長の山崎龍明(りゅうみょう)氏は米大統領に「相当な軍事費増額」を約束した岸田文雄首相を念頭に、こう書いた(6月16日付同紙)。

「戦争は政治家の敗北、無能性の表明」至言である。(柿)

### おすすめ記事

日刊紙 (7月19日付)

朝の風

戦争は政治家の敗北  
ロシアのウクライナ侵攻に対し、宗教界はいっせいに声をあげ、「問題を解決する手段として武力を用いた暴力」(全日本仏教会)の行使を憂え、平和を念じた。旧ソ連のアフガニスタン侵略や米国が仕掛けたイラク戦争の時には見られなかったほど、反応は早く広がった。

ロシアの行為は「明確に、国際法にも国連憲章にも違反」(日本YWCA)だと述べ、「武力行使は恨みの連鎖を生むだけで、真の解決とはなり得ません」(立正佼成会)とも説いた。

その視線は日本にも向いた。ウクライナ危機に乗じて軍拡をあおり、核共有を

志を曲げず、24歳で亡くなりました。千代子の生きざまに心を揺さぶられます。是非この機会に上映会にご参加ください。

### 対決 翼賛政治に正面から

戦前、日本共産党以外のすべての党は「大政翼賛会」に合流し、侵略戦争を推進しました。日本で戦前・戦後を通じて名前を変えずに活動している政党は、日本共産党だけです。このたたかいは先駆性は、戦後に制定された日本国憲法のなかで結実しました。

いまロシアのウクライナ侵略の暴挙に乗じ「大軍拡・改憲」を声高に叫ぶ「翼賛政治」の危険が強まる中、平和と民



運動を組織した阪口喜一郎(31)、党中央事務局で連絡・印刷などの活動をした伊藤千代子(24)、獄中からちり紙で姉へ「信念をまっとうする上にお

